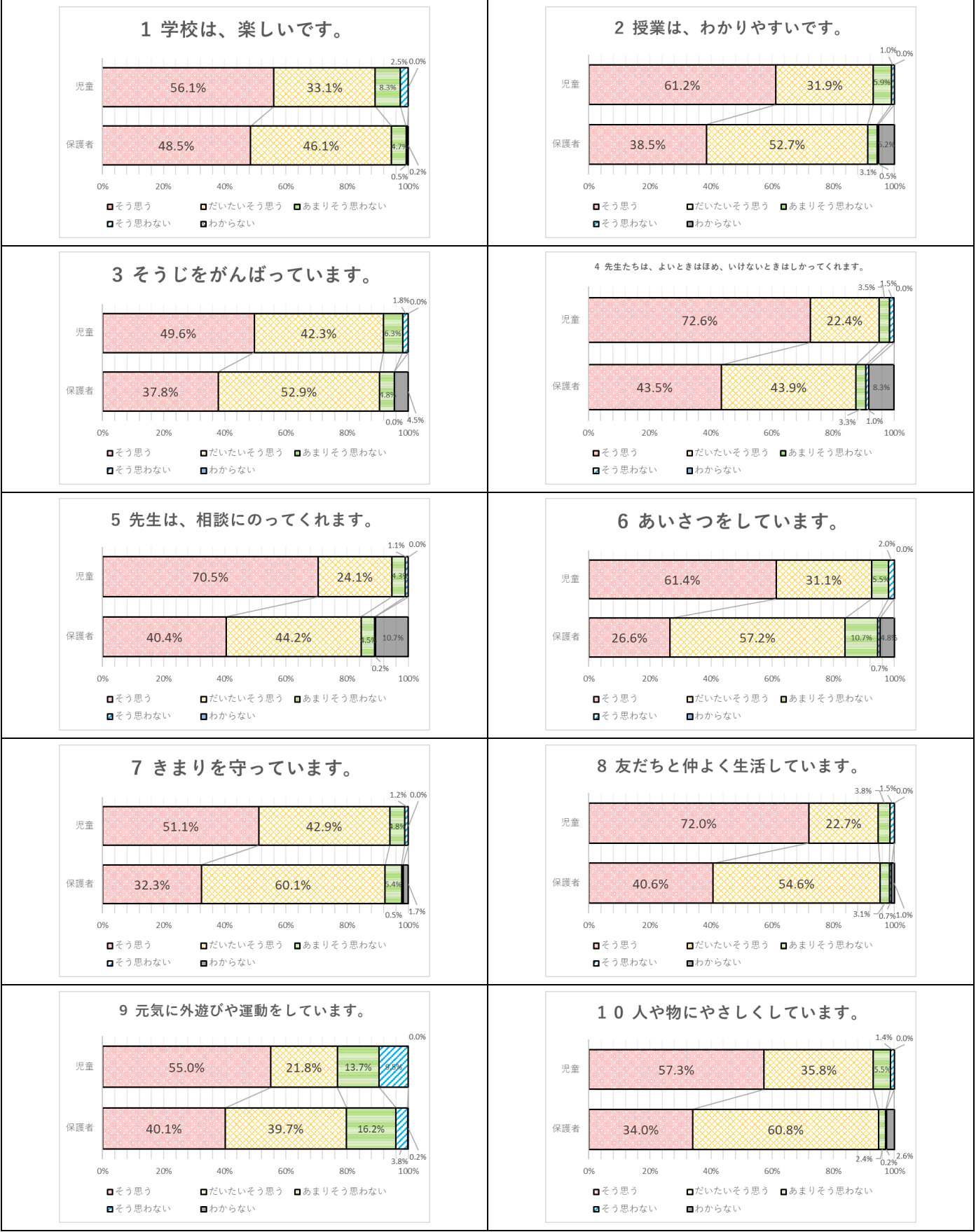
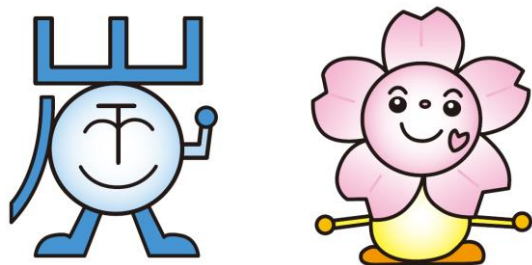
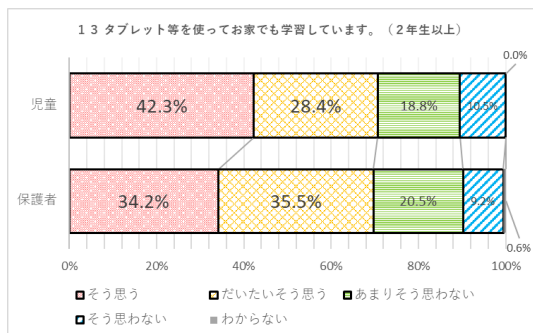
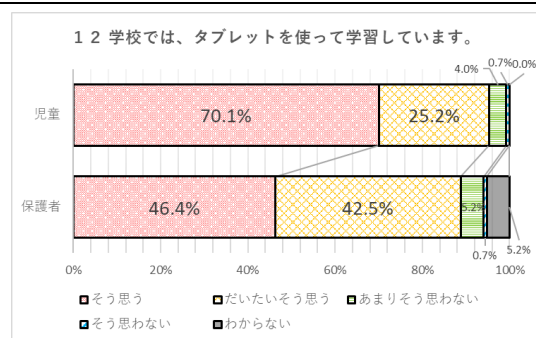
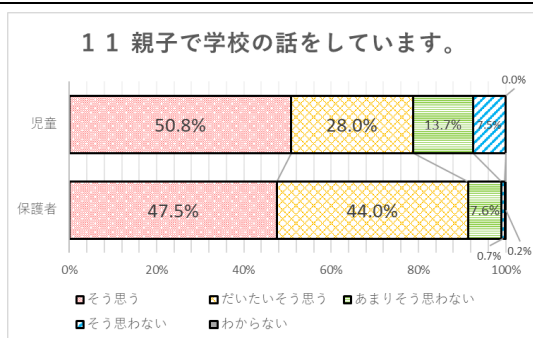


令和 7 年度学校評価集計結果報告

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度御提出いただきました学校評価の集計結果を報告いたします。下記の集計結果につきましては、今後の教育活動に生かしてまいります。御協力ありがとうございました。

校長 米原 大司





【成果】

- 児童・保護者ともに、多くの項目で肯定的評価の割合が8割を超えていました。
- 「2 授業は、わかりやすいです。」「1 2 学校ではタブレットを使って学習をしています。」の2項目において、児童・保護者ともに肯定的評価の割合が高い数値を示しています。本校内では、組織的に行っている学校課題研修に加え、今年度は教員間での自主研修にも力を注ぎました。特にICTを利用した学習について、多くの教員が積極的に取り組みました。子どもたちもタブレット端末の活用に慣れてきており、文房具のようにタブレットを扱うことができるようになってきました。そのようなことにより、自分の考えや意見を先生や友達と共有したり、タブレット端末を利用してクラウド上でグループ共同の資料を作ったりする場面が授業中自然と生まれるようになりました。児童が主体的に活動する場面が増えたので、今後は、情報を正しく理解し、安全かつ適切に判断・活用し、適切に発信できる能力「ネットリテラシー」についても学年に応じて、段階的に指導を強化していきます。
- 「7 きまりを守っている」の項目も児童・保護者ともに肯定的評価の割合が高い数値を示しています。「凡事徹底」として、廊下歩行や校庭・遊具の使い方、室内での過ごし方などについて引き続き、組織的・継続的に指導していきます。「岸町小のきまり」が、児童にとってより分かりやすく定着しやすいものとなるよう、精査してまいります。「率先垂範」として、上級生がきまりを守る姿を見せることで下級生の手本となる、岸町小のよき伝統としていきます。今後も全ての児童にとって、安心できる教育環境を全教職員で協力して整えてまいります。

【課題】

- 多くの項目において⑤わからないの回答は少数でしたが、⑤と回答された理由として「目にする機会がない・少ない」と挙げられている方が大半でした。このことを本校の課題の一つとし、HP等を活用して今後保護者の皆様により広く、児童の様子が伝わるような方法を検討してまいります。
- 「6 あいさつをしています。」の項目においては、児童の肯定的評価は高い割合となっております。それに比べて、保護者の肯定的評価の割合は約9ポイント低くなっています。あいさつに関しては、あいさつを行う意義を伝えたくて児童が自主的にあいさつできるよう、今後も全校参加の朝会をはじめ各学級で折を見て伝えてまいります。子どもたちの意識の中に「あいさつの大切さ」が根付くよう、御家庭での御指導も引き続きお願い申し上げます。保護者の皆様にも御協力いただいている「あいさつ運動」もより一層盛り上げていきたいと考えております。今後とも保護者の皆様、地域の皆様と協力して、岸町小学校をあいさつと笑顔であふれる学校としていきます。
- 「9 元気に外遊びや運動をしている」の項目の肯定的評価の割合は児童・保護者とも他項目に比べて低いことが分かります。本校では、今年度、例年に比べ、体力向上に向け多くのキャンペーンを行いました。児童が体を動かすことへの興味・関心を高めることを目指しております。児童の感想の中でも「楽しかった」「記録が伸びてうれしかった」などの声が多くありました。次年度も今年度の活動の振り返りを踏まえ、児童にとって運動や体を使った遊びが身近で楽しいものとなるよう努めてまいります。